

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公園維持管理						整理番号	634		枝番号	
担当部課名		都市整備部みどり公園課				コード	221909		連絡先電話番号	3584		
係名		公園整備係						上位施策名	No			
予算事業名		公園維持管理				コード	62700		公園づくり	13		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区立公園300園		根拠法令等		(1) 都市公園法 (2) 杉並区公園条例 (3)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区立公園施設の機能を維持するため、施設の点検、清掃・補修等を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		公園の持つ機能を維持することにより、利用者の安全で快適な利用を確保する。			
	活動指標名(式)		(1) 区立公園管理面積 (2) 区民要望件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 区民意向調査の回答で公園・広場が「良い」「まあ良い」の割合 (2)			
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)		㎡	516,947	524,119	524,083	546,495	524,674	533,650	601,081	87.3	
	活動指標(2)		件	1,559		1,577		1,545				
	成果指標(1)		%	67.4	70.0	67.4	70.0	65.9	70.0	80.0	82.4	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	489,669	528,348	530,549	603,360	591,105	590,203	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	746	1,114	987	2,155	2,188	985			
	(内) 委託費		千円	410,717	440,658	440,651	534,748	521,819	521,435			
	職員数(常勤 非常勤)		人	33.55 38.80	33.62 39.87	33.12 38.84	38.80 43.32	38.88 43.40	38.20 43.20			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	305,305	304,597	300,067	351,528	352,253	346,092		
		非常勤職員分		千円	111,744	115,224	112,248	122,596	122,822	122,256		
	総事業費 ++		千円	906,718	948,169	942,864	1,077,484	1,066,180	1,058,551			
	単位あたりコスト(-)÷		円	1,753	1,807	1,797	1,968	2,028	1,982			
	財源	受益者負担分		千円	11,408	10,807	10,793	10,807	10,425	11,752		
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	11,408	10,807	10,793	10,807	10,425	11,752				
差引:一般財源 -		千円	895,310	937,362	932,071	1,066,677	1,055,755	1,046,799				
受益者負担比率 ÷		%	1.3	1.1	1.1	1.0	1.0	1.1				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			樹木管理、除草等(委託等)					524,674	㎡	207,758		
			公園清掃委託(委託等)					524,674	㎡	131,552		
			公園維持補修(委託等)					524,674	㎡	147,610		
			機械・施設管理(委託等)					300	園	104,185		
			その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 634 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	96.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	#DIV/0!	18年度予算 執行率%	98.0
	17年度に行った専門業者による遊具等点検の結果を受け、危険箇所の改修工事を実施した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	18年度に引き続き危険箇所の改修工事を行い、安全で安心な公園を確保していく。					

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	着実に公園数が増加し、18年度末現在300園開設している。一方みどりの減少が進む中、公園は区民にとって身近なみどりと触れ合うことのできる憩いの場になっている。このため要望も多く、施設の良い維持管理、安全対策等迅速かつ的確な対応が課題となっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	みどりのオープンスペースを確保して欲しいとの要望は多いが、利用者からはゴミの不法投棄、夜間利用による騒音、路上生活者による不正利用等の苦情も多く寄せられている。また、近隣住民の方からは、樹木の剪定及び落ち葉の清掃についての要望が多く寄せられている。
	今後の予測	区民の地域活動への意識が高まり、公園においても区民と区の協働による維持管理は一層進んでいく。さらに安全で快適な公園が求められる中、地域の名所となる公園もつくられ、公園維持管理の多様性、質の向上が求められる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:公園は都市環境の改善、防災、景観、健康・レクリエーションなどの機能を持ち、これを適正に維持管理することにより、機能を最大限発揮する。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:公園の維持管理は区が主体的に行うものではあるが、区と区民等の役割分担を明確に行い、地域住民による自主的な維持管理活動の支援を行う。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益の対象が不特定多数の区民であり、公園の維持管理は区の責務である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:安全・快適な公園のための維持管理であり、必要なコストである。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題:業務の大部分は企業に委託しているが、平成16年度より発足した「すぎなみ公園育て組み」等の活動を区が支援し、地域住民による自主的な管理を促すことにより、地域に愛され親しまれる公園となっている。今後はボランティア等との協働による、より様々に質の高い活動を探っていく。
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区立公園の安全性・快適性の確保について、15年度策定した「杉並区公園維持管理指針」を地域社会の変化に合わせて適宜見直し、より計画的かつ区民ニーズに合った維持管理を行うとともに、各公園の特色を生かした個々の維持管理マニュアルの整備を目指す。また、16年度に発足した「すぎなみ公園育て組(公園等里親制度)」制度により、地域住民による自主的な公園等の美化活動を区が支援する体制が整い、将来的には全区立公園での導入を目指す。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 維持管理に係る経費の圧縮により、十分な維持管理及び補修の実施が難しくなっている。そこで、「維持管理指針」を適宜見直し、区と区民等の役割分担を明確にするとともに、16年度実施の「すぎなみ公園育て組」制度を積極的にPRし、より多くの団体が地域の公園等で自主的な維持管理活動ができるよう支援する。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 三井高井戸計画による提供緑地の開設にともない、維持管理経費の増が見込まれる。便所については、「(仮称)杉並行政サービス民間事業化提案制度」モデル事業として、新しい維持管理方式を20年度に一部実施する。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公園の適正利用の指導					整理番号	635	枝番号					
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221911	連絡先 電話番号	3587	昨年度 整理番号	656	昨年度 枝番号				
係名		公園利用係		上位施策名				No						
予算事業名		公園事業		コード	62950	公園づくり				13				
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 不適切な公園利用で迷惑を受けている利用者や近隣住民						(1) 都市公園法 (2) 杉並区公園条例 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		就業時間中は職員による巡回で注意指導を行う。夜間(20時から翌朝6時)は夜間警備を委託し、2人3班体制を標準とし、苦情の多い公園を重点にすべての公園の巡回警備を行っている。						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区立公園を安全で安心な場所とし、近隣住民と利用者に安心感を与え公園利用を楽しいものとする。					
	活動指標名(式)		(1) 1日の夜間警備対象公園数 (2) 夜間警備委託日数						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 全区立公園に対する一日の夜間警備対象公園の割合 (2) 年間日数に対する警備委託日数の割合					
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%				
指標	活動指標(1)		公園数	20	60	60	95	95	95	117	81.2			
	活動指標(2)		日数	365	365	365	365	365	365	365	100.0			
	成果指標(1)		%	6	19	19	30	30	29	35	85.7			
	成果指標(2)		%	100	100	100	100	100	100	100	100.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,640	26,006	25,912	42,067	47,934	47,974	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円	13,640	26,006	25,912	39,007	44,658	41,612					
	職員数(常勤 非常勤)		人	3.00	3.00	3.10	3.00	3.10	3.20	18年度から事業費が増えた理由は、漏れていた事業予算を計上したため。19年度から職員数が増えた理由は、錯誤により職員数が漏れていたため。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	27,300	27,180	28,086	27,180	28,086	28,992					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	40,940	53,186	53,998	69,247	76,020	76,966					
	単位あたりコスト(-)÷		円	2,047,000	886,433	899,967	728,916	800,211	810,168					
	財源	受益者負担分		千円				0	17			60		
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	17	60						
差引: 一般財源 -		千円	40,940	53,186	53,998	69,247	76,003	76,906						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		夜間警備委託						365	日	44,658				
		その他 ()								3,276				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 635 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	113.9
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		18年度は予算を増額し、基本的に警備班を3班体制とした。ただし、年間をとおして3班体制とするのではなく、夜間利用の多くなる夏場の7、8、9月を4班体制に増やし、冬場の12、1、2月は2班体制となるよう振り分けた。その他の月を3班体制で実施した。冬場の2班体制時に問題箇所が発生すると巡回に回れる箇所数が減り、対応が薄くなる課題が残った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	開始当初の平成12年度は夏休みの一部を警備委託していたが、16年度から年間委託とし夜間は毎日(年末年始も含む)巡回パトロールを行っている。区民から苦情のあった公園は当日あるいは翌日から一定期間毎日警備できるようになり、再発防止に効果をあげている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	区民にはあまり知られてはいないが、要望や相談を寄せられた区民の方からは、「毎日来てくれて安心できます。」との声もあるが、中には「一日1回だけでなく何度もパトロールにきて欲しい」、「パトロールが帰った後、騒ぐ連中が戻ってきて困る」との声もある。					
	今後の予測	人の生活様式が多様化した現代社会の中では、地域の安全安心を確保するためには、一日1回は区立公園のパトロールを実施する必要があると思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 注意看板の設置のみならず、人が巡回して注意することは迷惑をこうむっている近隣にとって安全安心の確保の上で大きく貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 警備は巡回頻度、すなわち活動量に比例して効果が上がる仕事であるため、成果を上げるには事業費の増加が必要となる。 理由または具体的内容: 夜間利用による迷惑防止の成果を上げるためには、活動量の増加が必要である。週に2回巡回するより、毎日巡回するほうが、迷惑利用に遭遇する確率が高く、効果が上がる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: この事業は、施設管理者としての義務である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 区立公園は300箇所以上あるので日に100箇所程度の現在の巡回頻度は最低限必要である。現状のコストを下げることは困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 危機管理室で行っている杉並安全パトロール委託と一緒に契約を行い、夜間(20時から翌朝6時)の警備を年間(年末年始も含む)委託している。警備業務は専門知識、技術を持った警備会社に委託することが効果的で成果につながる。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 19年度は昨年度と同じく警備班を3班体制として予算が配当された。しかし、年間を通して3班体制で巡回させるのではなく、夜間の公園利用が多くなり迷惑利用の増える夏場は警備を厚くすることが必要である。また、夕方19時前後、および朝方6時過ぎの公園での犬の放し飼い等の苦情に対応するため、巡回時間の延長も必要と考える。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 実施するに当たっての阻害要因は無いと思われる。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	年間を通し3班体制を確保した上、迷惑利用の増える夏場の7、8、9月を4班体制で巡回するとともに、巡回時間を19時から翌朝6時30分までに延長する。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		花咲かせ隊				整理番号	636		枝番号			
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221911	連絡先 電話番号	3587		昨年度 整理番号	658	昨年度 枝番号	
係名 公園利用係					上位施策名			No				
予算事業名 公園事業					コード	62950		公園づくり			13	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策 番号	施策 番号	事業 コード	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 公園等で区と協働して花壇づくりを行う地域の団体(5名以上)		根拠法令等 (1) 都市公園法 (2) 杉並区立公園条例 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 花壇づくりなどの緑化活動を行うことで区立公園が区民に親しまれるとともにその利用を拡大していく。							
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 花咲かせ隊への参加団体数 (2) 花咲かせ隊による花壇数							
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%		
指標	活動指標(1)		団体数	82	100	91	100	98	100	100	98.0	
	活動指標(2)		花壇数	82	100	91	100	98	100	100	98.0	
	成果指標(1)		m ²	328	400	364	400	392	400	400	98.0	
	成果指標(2)		%	22	32	23	32	32	32	31	103.2	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,137	5,865	5,687	5,865	5,624	5,965	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.80	0.80	0.83	0.80	0.85	0.80	職員数は公園利用係 で0.6人、各公園緑地事 務所0.1人ずつ計0.8人 とする。		
	人 件 費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	7,280	7,248	7,520	7,248	7,701			7,248
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	12,417	13,113	13,207	13,113	13,325	13,213			
	単位あたりコスト(-)÷		円	151,427	131,130	145,132	131,130	135,969	132,130			
	財 源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000			2,000
特定財源計 +		千円	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000				
差引: 一般財源 -		千円	10,417	11,113	11,207	11,113	11,325	11,213				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			花材の支援				3	回	4,939			
			道具類の支援				1	式	392			
			ボランティア保険				609	人	183			
			花咲かせ隊講座				1	回	20			
その他 (連絡通信費)						90						

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 636 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	98.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	98.0	18年度予算 執行率%	95.9
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		「花咲かせ隊」と「すぎなみ公園育て組」とを効果的に結びつけ、この二つの活動を融合することで効果的に事業を進めて行く取り組みを行った。取り組みの結果「すぎなみ公園育て組」20団体のうち14団体が「花咲かせ隊」の活動も行っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	当初は20団体であったが、平成19年3月末時点で98団体となり、毎年着実に増加してきている。同じ団体が長期にわたり活動している。さらに「すぎなみ公園育て組」に参加する団体も増えてきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	「花咲かせ隊」に対する区民の関心は高いと思われる。「花咲かせ隊」が活動する公園の利用者にも好評であり、活動を紹介するパネル展示でも、「きれいな花壇だけど、どこでやっているの。私も花咲かせ隊をやりたいけれどどうすればいいのか」との問合せがある。					
	今後の予測	今後も参加希望者や団体が着実に増加すると予測される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: 区民が創る「みどりの都市」杉並を实践する事業である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 今以上に成果を上げるためには、参加団体数を増やす、あるいは1団体当りの面積を増やすなどの手法が必要である。そうすると花材等の支援費用が増加する。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: この事業は区民と区との協働事業であり、受益者は公園利用者であるので、受益者負担を考えるものではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 現在は、いつでも花が見られるように一年草を中心に花材を支援しているが、今後は多年草や種、球根類などを増やしていくことである程度はコストを抑えられる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 公園緑地等の花壇管理である。区民等のボランティア団体に公園等の花壇を管理してもらい、区はそれに必要な花材や道具類の支援を行い、区民と区との協働で地域に親しまれる公園を作っていく。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「花咲かせ隊」と「すぎなみ公園育て組」の二つの活動をする団体を増やしていくことは、今後も続けていく。また、事業のあり方の中でも書いたが、支援花材の種類を工夫してコストをある程度抑えていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 効率的な執行体制で臨まないとならば事務経費が増大する恐れがある。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	18年度末で98団体となっている現状から、19年度は100団体を超えると予想している。そのため20年度の予算見積もりを増とした。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		すぎなみ公園育て組						整理番号	637		枝番号		
担当部課名		都市整備部みどり公園課				コード	221911		連絡先電話番号	3587			
係名		公園利用係				上位施策名			No				
予算事業名		公園事業				コード	62950		13				
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		16年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 公園等の管理を区と協働で行える地域の団体(5名以上)		根拠法令等 (1) 都市公園法 (2) 杉並区立公園条例 (3) すぎなみ公園育て組(公園等里親制度)実施								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		広報による募集、審査を経て「すぎなみ公園育て組」に登録後、団体と協定を結び、区は清掃用具や植栽の管理用具等を提供し、区と地域のボランティアと協働して公園等の管理にあたる。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 地域のボランティア団体と区が協働して、公園や緑地の清掃や植栽の手入れなどの管理を行うことで、公園等の美化を推進し、利用のモラル向上や地域に愛され親しまれる公園や緑地としていく。								
	活動指標名(式)		(1) 公園育て組への参加団体数 (2) 公園育て組が活動している公園数		成果指標名(式) (代)= 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 全区立公園に対する「育て組」がある公園の割合 (2)								
指標	区分	単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
	活動指標(1)	団体数	4		15		12		35	65	30.8		
	活動指標(2)	公園数	4		15		12		35	65	30.8		
	成果指標(1)	%	1		5		4		11	20	25.0		
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	701		3,098		1,523		3,360	2,217	3,707	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)
	(内) 投資的経費等		千円										
	(内) 委託費		千円										
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.20		0.20		0.22		0.20		0.20	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,820		1,812		1,993		1,812	1,812	1,812
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0	0	0
	総事業費 ++		千円	2,521		4,910		3,516		5,172	4,029	5,519	
	単位あたりコスト(-)÷		円	630,250		327,333		293,000		206,880	201,450	157,686	
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0		0		0		0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	2,521		4,910		3,516		5,172	4,029	5,519		
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0	0.0	0.0		
18年度の主な取組み			内 容						規模	単位	事業費(千円)		
			公園育て組が使用する道具類および維持管理用品						1	式	1,893		
			ボランティア保険						378	人	113		
			備品(公園育て組用倉庫)						4	組	211		
			その他 ()								0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 637 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	80.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	80.0	18年度予算 執行率%	66.0
		参加団体総数が18年度末現在20団体で、予定の25団体に達しなかった。さらに要請されてきた支援資器材が想定していたよりも少なかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		「すぎなみ公園育て組」と「花咲かせ隊」の二つの活動をひとつの団体が行うケースが増えてきている。前年度の改革案が軌道に乗ってきている状況となっている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	事業開始から3年が過ぎ、程度の差こそあれ「すぎなみ公園育て組」の活動のある公園は、活動開始以前に比べてごみのポイ捨てが減り、きれいな公園となっている。これも地域住民団体が清掃活動、植栽管理活動を行ってきた効果によるものと言える。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	区民や区議の方から問合せもあり、認知度は上がってきていると思われる。活動されている方から「近頃、公園で掃除をしていると、公園利用者からご苦労様とかありがとうと声をかけられることが多くなった」との声も聞かれるようになってきた。このため、活動者自身の意識も高まっている。					
	今後の予測	「花咲かせ隊」と同様に今後区民の関心が高まり、団体数が増えると予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: 区民が創る「みどりの都市」杉並を实践する事業である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 現在活動している「花咲かせ隊」の団体を「公園育て組」に取り込んでいくことにより、資器材等の支援が効率的になる。結果としてある程度の経費の削減が期待できる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: この事業は区と区民の協働事業であり、受益者は地域住民、公園利用者であるので、受益者負担を考えるものではない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 成果向上の方策でも述べているが、「公園育て組」と「花咲かせ隊」を同じ団体に行ってもらうことである。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 区民のボランティア団体に公園の維持管理の一部をになってもらうことにより、地域の財産として区民に親しまれる公園をつくって行くことができる。ひいては公園がきれいに使ってもらえることにより維持管理用の削減につながる。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 20年度の目標は45団体に増やすことであるので、予算は19年度より増なる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 今年度は上記の方針で進めてきたが、特に阻害要因は見当たらない。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	20年度の目標は45団体に増やすことであるので、予算は19年度より増なる。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区立公園事務所の管理運営					整理番号	638	枝番号							
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221901	連絡先 電話番号	3572	昨年度 整理番号	657	昨年度 枝番号						
係名		管理係		上位施策名				No								
予算事業名		事務所管理運営		コード	57100	公園づくり				13						
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		47 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号 <input type="checkbox"/> 協働計画事業	施策番号 事業コード						
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等											
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 公園緑地事務所(2所)、公園管理事務所(7所)		(1) 都市公園法、杉並区公園条例、同条例施行規則 (2) 杉並区公園緑地事務所処務規程 (3) 地方自治法第281条第2項											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		公園緑地事務所及び公園管理事務所の施設・設備維持、事業所における業務運営を補佐する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 公園緑地事務所及び公園管理事務所の管理運営を行い、公園維持管理ほか他事業の事業執行を円滑にする。											
	活動指標名(式)		(1) 対象事務所数 (2) 対象管理面積		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)											
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%					
指標	活動指標(1)		園	9		9		9		9	10	90.0				
	活動指標(2)		m ²	6,505		6,505		6,505		6,505	7,228	90.0				
	成果指標(1)															
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	23,911		40,834		36,481		43,610		37,206		43,856		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)
	(内) 投資的経費等		千円													
	(内) 委託費		千円	7,992		11,236		10,928		9,838		9,167		10,011		
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.24	5.19	1.40	5.08	1.40	5.08	1.40	5.08	1.40	5.08	1.40	5.08	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	11,284		12,684		12,684		12,684		12,684		12,684	
		非常勤職員分		千円	14,947		14,681		14,681		14,376		14,376		14,376	
	総事業費 + +		千円	50,142		68,199		63,846		70,670		64,266		70,916		
	単位あたりコスト(-)÷		円	5,571,333		7,577,667		7,094,000		7,852,222		7,140,667		7,879,556		
	財源	受益者負担分		千円	763		1,366		1,043		1,398		1,262		1,494	
		国・都等からの支出金		千円												
特定財源計 +		千円	763		1,366		1,043		1,398		1,262		1,494			
差引: 一般財源 -		千円	49,379		66,833		62,803		69,272		63,004		69,422			
受益者負担比率 ÷		%	1.5		2.0		1.6		2.0		2.0		2.1			
18年度の主な取組み		内 容								規模	単位	事業費(千円)				
		光熱水費								9	園	12,031				
		建物等管理委託料(委託等)								9	園	9,832				
		事務所保守管理(委託等)								9	園	9,422				
		一般需用費								9	園	4,455				
		その他 (通信運搬費、賃借料、謝礼金)										1,466				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 638 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	85.3
		光熱水費の節減					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		「公園管理事務所へのスイッチパソコンの導入」を関係各方面に働きかけ、早期の実現を目指す。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区立公園の数・総面積 S47年度 46園 160,449.21㎡ H18年度 299園 524,083.11㎡ (S47年は最初の公園管理事務所である児童交通公園の開園年)					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	区民から出される意見要望は、公園利用、公園施設利用、公園の管理状態(清掃等含む)に関するものが大半である。職員の接客等については、苦情も見受けられるときがあるが、全体として良好である。7つの公園で毎月利用者アンケートを取っているが、概ね評価は良い。					
	今後の予測	管理事務所のある公園における、犬連れの利用など利用者マナーの向上や、放置車両の撤去など、さらにきめ細かい管理運営を求める声が増えている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:公園緑地事務所及び公園管理事務所は、安全で利用しやすい公園にするための保全活動や、法令等に基づいた適切な利用を進めるための第一線の職場である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容:コストの制約のあるなか、現場の状況に応じて、職員が工夫を凝らした対応を常日頃から行なっている。 理由または具体的内容:職員の日々の対応では限界があり、設備の更新、機器の設置など、年数経過に応じた一定程度の投資的経費の投入が必要。必要最低限の事務機器の配置もそれに当たる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:受益者負担は茶室使用料が主なものであり、改定は困難だが、利用者の少ない柏の宮の茶室をPRし、利用増を図る。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [OA化] (具体的内容)	理由または具体的内容:本庁・公園緑地事務所・公園管理事務所の情報伝達にかかる作業を効率化することにより、事務の生産性を向上させる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題:公園の適切な管理(利用指導を含む)は本来、行政が主体となって業務を実施すべきである。しかし、事務所の清掃や設備の点検業務は、資格や技術面で人材の確保が困難なため、専門業者に委託して行っている。その他の維持管理等は、直営職員(嘱託員)を事務所に配置し、緑地事務所・本庁と緊密な連絡を取りながら行っている。当面、現状の取り組みを継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 コストを下げる要因として上記に取り上げた「公園管理事務所へのスイッチパソコンの導入」を関係各方面に働きかけ、早期の実現を目指す。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 阻害要因:回線の敷設及びその維持コストによる経費増。また電子網構築部門の設置計画における施設別設置優先順位等の考え方の違い。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 公園管理事務所の設置を伴うような大規模公園の新規設置・廃止は、H23.3に(仮称)桃井中央公園が予定されるが、公園の管理運営方法については、今後検討を行う。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		遊び場対策						整理番号	639	枝番号						
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221909	連絡先 電話番号	3584	昨年度 整理番号	659	昨年度 枝番号						
係名		公園整備係		上位施策名				No								
予算事業名		遊び場対策		コード	63100	公園づくり				13						
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区立遊び場(15ヶ所)		根拠法令等 (1) 杉並区遊び場等の設置及び管理に関する要綱 (2) 先行取得用地の活用と管理について (3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		先行取得用地、他の公共団体や地主の好意による提供用地を活用し、区立公園の補完施設に位置づけ、一時遊び場として開放し、その施設維持管理・清掃などを行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		遊び場の持つ機能を確保し、利用者が安全で快適に利用する。									
	活動指標名(式)		(1) 遊び場管理面積 (2) 区民要望件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 区民意向調査の回答で公園・広場が「良い」「まあ良い」の割合 (2)									
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%						
	活動指標(1)	㎡	41,052	52,767	52,767	52,304	104,991	105,261	106,147	98.9						
	活動指標(2)	件	58		21		102									
	成果指標(1)	%	67.4	70.0	67.4	70.0	65.9	70.0	80.0	82.4						
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費	千円	29,502	34,343	32,454	38,848	53,922	66,670	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)							
	(内) 投資的経費等	千円					18,270	6,000								
	(内) 委託費	千円	26,115	29,974	28,670	35,131	51,947	57,954								
	職員数(常勤 非常勤)	人	3.32	3.03	3.03	5.30	5.66	5.50	NHK旧富士見ヶ丘運動場を借りあげ、暫定的に開放するため、遊び場102番として整備した。							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	30,212	27,452	27,452	48,018	51,280					49,830			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					0			
	総事業費 + +	千円	59,714	61,795	59,906	86,866	105,202	116,500								
	単位あたりコスト(-)÷	円	1,455	1,171	1,135	1,661	828	1,050								
	財源	受益者負担分	千円													
		国・都等からの支出金	千円													
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引: 一般財源 -		千円	59,714	61,795	59,906	86,866	105,202	116,500								
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
18年度の主な取組み	内 容		規 模		単位	事業費(千円)										
	桃井原っぱ広場の清掃、除草、管理委託等(委託等)		40,000		㎡	23,841										
	他の遊び場の清掃、光熱水費等(委託等)		12,305		㎡	5,289										
	他の遊び場の維持補修(委託等)		12,305		㎡	2,573										
	他の遊び場の樹木管理、除草等(委託等)		12,305		㎡	3,377										
	その他 (遊び場102番整備、開園式)		52,686		㎡	18,842										

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 639 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	200.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	#DIV/0!	18年度予算 執行率%	138.8
		18年度末に遊び場102番の整備を行ったため、工事費が増額した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		利用状況、土地の権原、周辺の公園緑地の配置状況等を検討し、1.公園化 2.遊び場として存続 3.土地の返還にそれぞれ分け、再整備等の検討をする。 遊び場102番の開設により、除草、清掃等の維持費が大幅に増額した。19年度は遊び場103番・104番の新設と遊び場86番の公園化が予定されている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	公園整備が急がれていた昭和46年当時、公共施設建設などのために先行取得した用地を一時、公園の補完施設として活用していた。その後、民有借地などへ拡大してきたが、開設が長期化している。また、現存の遊び場は、本格整備が行われなまま老朽化が進んでいる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	近くに子供が安心して遊べる場所があるのは好ましい。狭く小さな遊び場に対して近隣住民からは、騒音などの苦情が多い。また、身近な公園の設置状況が不足している地区においては、遊び場から区立公園への変更を求める声もある。					
	今後の予測	今後、地主の相続等による返還の申し出が多くなると予測される。また、長期化した施設のため、再整備を含めての公園化の要望が多くなると考えられる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 区立公園も一部地域を除き適正な配置状況に近づいており、区立公園を補完するための遊び場の存在意義は薄れてきているが、公園化を前提とし、用地の担保性を高めるための遊び場設置の意義は理由または具体的内容:					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 維持管理は区が主体的に行うものの、地域住民による自主的な維持管理活動には支援を行う。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益の対象が不特定多数の区民であり、遊び場の整備は区の責務であるため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 遊び場施設の維持管理であり、必要なコストである。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 民有地等は区に貸すことを条件としているため、設置者である区が主体的に業者委託により管理し、安全な遊び場としての機能を保っている。しかし、清掃等はNPO等への委託や平成16年度実施の「すぎなみ公園育て組」の導入による区民との協働を目指す。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 利用状況、土地の権原、周辺の公園緑地の配置状況を見ながら、1.区立公園化 2.遊び場として存続 3.土地の返還にそれぞれ分け、再整備等の検討を行う。遊び場として存続する際は、施設の老朽化から安全性、快適性などを確保するため、維持管理のあり方を見直す。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 民有地の土地取得には、大きな財政負担が伴う。維持管理経費予算の圧縮も要因となる。本事業の実施手法やあり方を検討しながら、計画的な事業推進を行う。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 施設の安全性、快適性などへの区民要望に応えるため、よりきめ細やかな維持管理をする必要がある。同時に、中長期的な視点に立ち、今後の課題を検討する。 便所については、「(仮称)杉並行政サービス民間事業化提案制度」モデル事業として、新しい維持管理方式を20年度に一部実施する。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		(仮称) 桃井中央公園の整備				整理番号	640		枝番号					
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221909	連絡先 電話番号	昨年度 整理番号	660		昨年度 枝番号				
係名		公園整備係		上位施策名					No					
予算事業名		地域公園整備		コード	63250	公園づくり			13					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		17 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(2)	施策番号		事業コード	8
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (仮称) 桃井中央公園						(1) 都市公園法 (2) 独立行政法人都市再生機構法 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		17年度 基本計画、基本設計 21~22年度 整備工事 18~22年度 用地取得 23年3月 開園 20年度 実施設計						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民がみどりの豊かさを実感できるとともに、災害時には防災機能を発揮して区民が安全・安心に暮らせるための防災公園を整備する。					
	活動指標名(式)		(1) 当該年度公園用地累積取得面積 (2)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代) 区立の防災公園数 (2)					
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)		㎡		0	0	8,000	8,000	16,000	40,000	20.0			
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		園		4	4	4	4	4	5	80.0			
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円		35,546	30,972	2,281,321	1,670,621	1,611,907	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円		35,546	30,972	2,281,321	1,670,621	1,611,907					
	(内) 委託費		千円		35,496	30,923	2,281,321	1,670,621	1,611,907					
	職員数(常勤 非常勤)		人		0.50	0.50	0.10	0.10	0.30	予定総支出額 8,929,909千円 今後の国庫補助額により変動する。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	4,530	4,530	906	906			2,718		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			0		
	総事業費 + +		千円	0	40,076	35,502	2,282,227	1,671,527	1,614,625					
	単位あたりコスト(-)÷		円				113	113	170					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円				508,488	294,855	416,357				
特定財源計 +		千円	0	0	0	508,488	294,855	416,357						
差引: 一般財源 -		千円	0	40,076	35,502	1,773,739	1,376,672	1,198,268						
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)				
			(仮称) 桃井中央公園整備負担金					4,000	㎡	1,670,621				
			その他 ()							0				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 640 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	73.2
		年度末に国庫補助金の増額補正があったため、事業費が大幅に減額できた。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		国庫補助内示額が19年度より多いため、当初予算額が19年度より少ない。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	17年度当初に桃井三丁目の市街地整備が終了し、約2600人が居住している。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> ・今の原っぱの状態を維持した公園にしてほしい。 ・防火樹林帯の植栽を充実してほしい。 ・ドッグラン施設を整備してほしい・しないでほしい。 				
	今後の予測	20年度の実施設計に向け、19年度から準備をすすめる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 公園として整備することにより、地域のみどりを確保し、防災力の向上に寄与している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 耐久性等、コスト効果に優れる整備資材を選定することにより、整備の成果向上は期待できる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益の対象が不特定多数の区民であり、地域公園の整備は区の責務である。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: すでに、支払い方法の見直しにより事業費を圧縮した。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 都市再生機構が施行することにより、国庫補助申請事務等の区人件費を節減できた。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 公園施設のより詳細な検討は20年度の実施設計時に行う。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 用地取得に加え、実施設計をおこなう。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		身近な公園整備				整理番号	641		枝番号					
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221909	連絡先電話番号	3584		昨年度整理番号	-				
係名		公園整備係		上位施策名				No						
予算事業名		ふれあい公園整備		コード	63350		公園づくり		13					
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ○平成		年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(2)	施策番号		事業コード	9
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区立公園		根拠法令等		(1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条 (3) 杉並区公園条例					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区民1人あたり1.5㎡(平成30年)の公園面積を目標に身近な公園を整備していく。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		身近に区民が憩いふれあう魅力ある場をつくりだす。							
	活動指標名(式)		(1) 当該年度に新設した身近な公園数 (2) 当該年度に整備した身近な公園面積		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (代)身近な公園数 (2) (代)身近な公園面積							
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)		園	0	3	3	1	1	3					
	活動指標(2)		㎡	255	3,455	3,446	591	591	8,976					
	成果指標(1)		園	289	292	292	293	293	296	302	97.0			
成果指標(2)		㎡	322,548	325,994	325,994	326,585	326,585	335,562	362,993	90.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,623	0	0	680,437	679,502	839,157	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円	7,623	0		680,437	679,502	839,157					
	(内) 委託費		千円		0		0	0	19,225					
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.00	0.60	0.60	1.00	1.00	1.20					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	18,200	5,436	5,436	9,060	9,060	10,872				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	25,823	5,436	5,436	689,497	688,562	850,029					
	単位あたりコスト(-)÷		円		1,812,000	1,812,000	9,060,000	9,060,000	3,624,000					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円				226,000	176,000					
特定財源計 +		千円	0	0	0	226,000	176,000	0						
差引:一般財源 -		千円	25,823	5,436	5,436	463,497	512,562	850,029						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		银杏稲荷公園用地取得						1,550.47	㎡	640,096				
		和泉緑地用地取得						139.40	㎡	39,406				
		その他 ()								0				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 641 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	99.9
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		遊び場86番の都市公園化、和田公園拡張のため、事業費が増額した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	「みどりの都市」杉並としては、区民に安全で親しみを持てる公園として、公園を充実していくことが求められている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	空き地や駐車場などの用地を公園として買収してほしいという要望がある。					
	今後の予測	余暇の拡大、価値観の多様化、及び生活習慣の変化に伴い、今後、公園施設の必要等に対する要望などが見込まれる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民1人あたりの公園面積を少しでも増やすことができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 用地買収などが伴う場合がある。また、新規に公園を整備するので事業費がかかる。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益の対象が不特定多数の区民であることや、公園の管理者である区の責務であるため、見直す余地はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 新たな施設を設置するため、コストを下げる余地はない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 区民が満足できる公園を提供していくのは、施設管理者である区の責務であり、整備については今後も企業に委託して行う。ただし、計画づくり、管理運営に対しては一般区民、NPO等の参加により協議で行うことは推進すべきであり、説明会方式等による区民参加での計画づくりを実施している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	なお、当該年度については用地取得のみだったため委託料が無い。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 身近な公園整備目標は1.5㎡/人(平成30年)であるが、現在0.61㎡/人程しかなく、今後も拡大していかなければならない。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 用地の確保が財政面からも難しい状況にある。他のまちづくり事業との連携、公園事業補助の活用等の検討が必要である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 複数の公園の用地取得が予定されている為、事業費が大幅に増額する。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公園改修				整理番号	642		枝番号						
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221909	連絡先 電話番号	3584		昨年度 整理番号	661	昨年度 枝番号				
係名		公園整備係				上位施策名			No						
予算事業名		公園改修		コード	63500		公園づくり			13					
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(2)		施策番号		事業コード	9
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区立公園		(1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条 (3) 杉並区立公園条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		老朽化した区立公園において、主要施設を見直すなど大規模に改修する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 主要施設を見直すなど大規模に改修することにより、区民にとって安全で魅力的な公園にリフレッシュする。								
	活動指標名(式)		(1) 当該年度改修公園箇所数 (2) 改修公園累計数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 公園改修率 = 改修公園累計数 / 公園改修予定数 (29公園) (2)								
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%				
	活動指標(1)		園	2	2	2	3	3	1						
	活動指標(2)		園	8	10	10	13	13	14	29	44.8				
	成果指標(1)		%	27.6	34.5	34.5	44.8	44.8	48.3	100.0	44.8				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	18,725	28,970	27,345	87,459	73,098	9,399	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等		千円	18,725	28,970	27,345	87,459	73,098	9,399						
	(内) 委託費		千円	18,606	28,888	27,252	87,381	73,015	9,321						
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.25	1.45	1.45	1.60	1.60	1.50	18年度の3園中1園の 事業費は、「大田黒公 園周辺地区景観まちづ くり」に含まれる。					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	11,375	13,137	13,137	14,496	14,496	13,590						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	30,100	42,107	40,482	101,955	87,594	22,989						
	単位あたりコスト(-) ÷		円	5,687,500	6,568,500	6,568,500	4,832,000	4,832,000	13,590,000						
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0							
差引: 一般財源 -		千円	30,100	42,107	40,482	101,955	87,594	22,989							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)					
		井草公園全面改修(委託等)						2,843.84	m ²	62,545					
		高井戸正用公園部分改修(委託等)						1,029.18	m ²	6,040					
		桃井原っぱ犬の遊び場(ドッグラン)の試行						1	所	4,513					
		その他 ()								0					

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 642 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	83.6
		公園改修計画に従い実施した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		改修園数の減により、予算が減額した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	開園後、かなりの年数が経ち老朽化が目立つ公園が多い。また、傷んでいる施設も多く、部分改修では収まらない公園が増えている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	老朽化した施設を改修したり、防犯上の観点から死角を無くすなど、安全・安心で利用者のニーズに対応した快適な公園が望まれている。					
	今後の予測	老朽化した公園が大変多く、事業規模の充実を含め、改修計画の根本的な見直しが必要である。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:安全性の向上や公園の魅力付けができ、公園のリフレッシュが果たせる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:1年で2園の改修ペースでは、公園施設の老朽化に追いつかない。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益の対象が不特定多数の区民であることや、公園改修は管理者である区の責務であるため見直す余地はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:公園全体を見直し、新たな魅力付けをするためには、コストを下げる余地はない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題:施設整備については、今後も施設管理者である区が企業に委託して行うが、設計にあたり区民参加方式を進めていく。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 ▼)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区内の公園は、設置年度が古いものが多く、施設がかなり老朽化している。特に球戯場・複合木製遊具などの主要施設が劣化している公園も多く、安全性を確保するため改修していかなければならない。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 実施計画に基づき、1年に2園ずつの改修を予定しているが、老朽化が進み危険度が高い公園については、早急な対応が必要である。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特色ある公園づくり			整理番号	643	枝番号						
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221909	連絡先電話番号	3584	昨年度整理番号	662	昨年度枝番号			
係名				公園整備係		上位施策名		No					
予算事業名				公園改修		コード		63500		公園づくり		13	
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号 (2) 施策番号		事業コード 9	
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等			
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区立公園		(1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条 (3) 杉並区公園条例							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			既存の公園に、ある種の付加価値をつけて、今以上の魅力を引き出すことを目的とする。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 公園を特色ある公園として再整備することにより、地域に密着した、より区民に愛され、魅力ある公園を創出する。そして区民の公園に対する関心を向上させる。							
	活動指標名(式)			(1) 当該年度整備した木と花のコースの数 (2) 整備した木と花のコースの数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 整備した木と花のコース整備率 = $\frac{\text{整備した木と花のコース整備数}}{\text{整備予定数}} \times 100$							
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
	活動指標(1)		コース	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5				
	活動指標(2)		コース	6.0	7.5	7.5	9.0	9.0	10.5	15.0	60.0		
	成果指標(1)		%	40	50	50	60	60	70	100	60.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,352	6,491	5,518	6,010	5,326	6,010	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円	5,352	6,491	5,518	6,010	5,326	6,010				
	(内) 委託費		千円	5,352	6,479	5,518	6,000	5,322	6,000				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.65	0.65	0.60	0.90	0.90	0.90				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	5,915	5,889	5,436	8,154	8,154	8,154			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	11,267	12,380	10,954	14,164	13,480	14,164				
	単位あたりコスト(-)÷		円	3,943,333	3,926,000	3,624,000	5,436,000	5,436,000	5,436,000				
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	11,267	12,380	10,954	14,164	13,480	14,164					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)			
			木のコース、花のコース整備(委託等)					1.5	コース	5,326			
			その他 ()							0			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 643 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	88.6
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		計画に従い、木になる巡回会いコース(テーマ:万葉集に詠まれた木)を成田・荻窪地区で1コース、自然との花し会いコース(テーマ:香りの良い花)を久我山地区で0.5コース整備した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区民ニーズの変化に伴い、既設公園にある種の付加価値をつけて、区民に親しまれる公園として、再整備することが求められている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	利用者の少ない公園がある。 防犯上、安全で子供だけでなく高齢者も気軽に楽しめる公園が欲しい。					
	今後の予測	余暇の拡大、価値観の多様化及び生活習慣の変化に伴い、公園に対する区民の関わり方・要望などが多岐にわたることが見込まれる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:みどりの確保、災害時及びレクリエーションのためのオープンスペースの確保など公園の存在価値は高いが、それ以上に多くの人に活用される公園づくりを進めることで、公園を活性化させる効果がある。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:区内の約300ある公園に付加価値をつけ、魅力ある公園にするためには不十分である。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益の対象が不特定多数の区民であり、公園の整備は区の責務であるため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:植物と看板のみの最小の経費で植付けスペース周りの整備まで実施しているのが現状で、コストを下げる余地は無い。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題:整備は基本的には業者委託で行うが、地域の児童館等に看板の作成や植樹に関わってもらうことで地域に愛され親しめる公園となっている。今後の管理運営についても継続して関わってもらえるように誘導する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後の特色ある公園づくりにおいては、区民がより関わられるようなプログラムを探り、実践する。そして、今後の管理運営についても引き続き関わっていただけるように誘導する。また、区民のこの事業に対する認知度が低いため、PRの方法、イベントの開催等を検討していく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 当初、区民が花木の植付けなどに参加しても、その後継続して水遣り、除草などに関わることがない。区民が維持管理まで継続して参加してもらえるように誘導する。また、この事業に対する区民の認知度を上げるため、PR方法やイベントの開催等を検討する。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 特色ある公園づくりを区と区民の協働で推進し、区民が積極的に管理運営にまで関わるようになれば、公園に対する愛着も高まる。そのことが地域のコミュニティの形成・向上につながるため、ますます推進していく。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公衆便所の維持管理						整理番号	644	枝番号	
担当部課名		都市整備部 みどり公園課		コード	221901	連絡先 電話番号	3572	昨年度 整理番号	663	昨年度 枝番号	
係名		管理係		上位施策名				No			
予算事業名		公衆便所維持管理		コード	64900	公園づくり				13	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		28 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区立公衆便所17所		根拠法令等 (1) 杉並区公衆便所条例 (2) 地方自治法第2条第3項、第281条第2項 (3) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第2項				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		公衆便所の定期的な清掃、管理及び機能を保持するための維持補修を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		公衆便所を適切に維持管理し、安全で快適な利用と周辺地域の環境衛生保持を行う。				
	(1) 公衆便所数 (2) 定期清掃回数(年間延べ回数)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (代) 公衆便所のバリアフリー率 = バリアフリー化された便所数 ÷ 公衆便所数 (2)				
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度 計画 実績		18年度 計画 実績		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)	所	17	17	17	16	16	17	17	94.1	
	活動指標(2)	回	6,690	4,870	4,428	4,140	4,026	4,392	4,870	82.7	
	成果指標(1)	回	53	53	53	56	56	53	59	94.9	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	23,435	19,603	14,610	16,179	13,159	15,577	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円	14,672	10,940	11,445	12,723	8,833	10,556		
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.26 0.00	1.11 0.00	1.11 0.00	2.10 0.00	2.10 0.00	2.10 0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	11,466	10,057	10,057	19,026	19,026	19,026	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +		千円	34,901	29,660	24,667	35,205	32,185	34,603		
	単位あたりコスト(-) ÷		円	2,053,000	1,744,706	1,451,000	2,200,313	2,011,563	2,035,471		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	34,901	29,660	24,667	35,205	32,185	34,603			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)	
		地域別ブロック方式清掃委託						17	所	8,341	
		維持管理費						17	所	2,627	
		公衆便所維持補修維持管理経費						17	所	853	
		公衆便所維持補修設備改修						17	所	629	
		その他 (管理運営費、便所灯維持、樹木管理)						17	所	709	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 644 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	97.2	18年度予算 執行率%	81.3
	公衆便所・公園清掃の委託方式が、営繕課委託から主管課委託に変わったことに伴い、事業費は減少した。土木作業員が公園緑地事務所に配置されたことにより、公衆便所の維持管理の向上を図れた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	公衆便所設置状況や利用状況を勘案し、経費の投入に関しては、費用対効果を考慮しながら、予算執行を行っている。トイレのバリアフリー化については、予算の関係で進展がなかった。					

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	公衆便所箇所 昭和49年～現在 17箇所 公園便所箇所 昭和56年 126箇所 昭和60年 142箇所 平成元年 164箇所 平成5年 183箇所 平成12年～ 201箇所
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	「トイレが常に清潔で使いやすい状態であること」といった日常管理に関する要望が多い。また、高齢者、障害者など、身体機能に支障がある人を含め誰もが使いやすく安全な施設であることを望む声もある。
	今後の予測	公園便所の新設・改修によって、公衆便所の機能・役割は一定程度補完されていくことから、公衆便所単独の新設はないと思われる。今後は現在の施設の維持補修・バリアフリー化への対応が中心になっていく。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 快適なまちを保持するため、また、まちの環境美化のため、公衆便所の存在は不可欠である。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 清掃の民間事業化により、事業者による主体的な維持管理向上が期待される。バリアフリー化については、民間事業化の進行を見ながら、予算を含めた改修計画を検討する。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 誰もがいつでも気軽に利用できる公衆トイレの存在意義からして、トイレの有料化は現時点で時期尚早と思われる。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現在の経費は、維持管理に必要な最低限の範囲となっているため。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続	<input checked="" type="radio"/> 推進	<input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 区内を6ブロックに分け、競争入札により委託を行っている。民間事業化モデル事業となったことに伴い、委託の範囲から事後点検のあり方までを視野に入れた検討を行う。			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 公衆便所の清掃については、民間事業化モデル事業となったので、清掃以外にも、苦情対応・小規模修繕までを視野に入れた検討を行い、民間事業として委託する。バリアフリー化していない既設の8箇所の公衆便所については、今後計画的に改修していくことが求められる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 (阻害要因) 公衆便所改修の政策上の位置付けを見直し、事業予算を確保する。(1ヶ所当たり約1000万) (克服方法) 区の重点施策(地域開発計画、防犯強化地区計画等)がある場合で、当該地域内に未改修公衆便所がある場合は、策定の時点で総合的計画の一環として、公衆便所整備を計画の中に盛り込む。公園便所を兼ねている公衆便所については、位置付けを見直し公園改修計画の中に統合する。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	民間事業化モデル事業の検討結果にもとづき、清掃業務軽減のための初期投資(ガラスコーティング)、公衆便所・公園便所清掃及び管理運営業務を民間事業として試行する。 公衆便所のバリアフリー化について、改修計画を検討する。